

さまざまな学校が活躍している 私立高校の運動部

埼玉の私立高校のクラブ活動の多様さについて、6～7ページで紹介しましたが、ここでは運動部の活躍をさらにクローズアップしてみたいと思います。

野球は 浦和学院を筆頭に 私立高校が優勢

まずは野球から見ていきましょう。

夏の風物詩の1つでもある全国高校野球選手権。その出場権をめぐる高校球児が競いあう県大会の昨年度結果は、優勝が春日部共栄、ベスト4に正智深谷、ベスト8に狭山ヶ丘、昌平、本庄東と、8強のうち5校が私立高校です。1993年には夏の甲子園で春日部共栄が準優勝、2008年には春の選抜高校野球大会で聖望学園が準優勝し、一昨年3月から4月にかけて行われた全国選抜高校野球大会では、浦和学院が念願の初優勝を手に入れています。

次にサッカーのインターハイ県予選では、右ページの表のとおり男子は西武台が優勝。全国大会で優勝経験もある武南がベスト4入り、正智深谷、昌平、東京成徳大深谷がベスト8に入っています。

また、女子は埼玉平成が4強

に進出し、花咲徳栄、本庄第一、山村学園がベスト8に入っています。

バレーボールは、男子では埼玉栄などが、女子では細田学園、淑徳与野などが強豪で、春日部共栄、正智深谷は男女とも埼玉の上位校です。とくに細田学園は全国大会でもすばらしい成績を残しています。

バスケットボールは正智深谷（男子）、埼玉栄（女子）などが全国大会への切符を勝ち取っています。

そのほかにも、昨年の球技におけるインターハイなどの県予選では、浦和学院（ハンドボール男子、硬式テニス男女）、埼玉栄（バスケットボール女子、ハンドボール男女、バドミントン男女、ソフトボール男女、バレーボール男子）、浦和実業学園（ハンドボール男女）、川越東（硬式テニス男子、バドミントン男子、ソフトテニス男子、バレーボール男子、ソフトボール男子）、埼玉平成（バレーボール女子、ソフトテニス女子）、昌平（バスケットボール男子、ラグビー）、武蔵越生（ソフトテニス女子）、栄北（ソフトボール男子）、花咲徳栄（ソフトボール女子、硬式テニス男子）、星野（ソフトボール女子、ソフトテニス女子、バドミントン女

子）、本庄第一（バレーボール男子、バドミントン女子）、叡明（バドミントン男子）、浦和麗明（バドミントン女子）、慶應義塾志木（バスケットボール男子、ラグビー）、早稲田大学本庄（硬式テニス男女）、秀明英光（水球、硬式テニス男女）、山村学園（硬式テニス女子）、正智深谷（ラグビー）といった学校が上位に進出しています。

球技以外の 運動部も盛んな 埼玉の私立高校

球技だけが運動部ではありません。球技以外の運動部も埼玉の私立高校は元気に活動しています。

まずは柔道から。団体戦ではさまざまなクラブが県内で活躍している埼玉栄（男女）や花咲徳栄（女子）に加えて、武蔵越生（男女）や武南（男子）、立教新座なども上位に顔を出しています。剣道は本庄第一（男女）、埼玉栄（男女）、淑徳与野（女子）に加え、城北埼玉（男子）、花咲徳栄（男子）、昌平（女子）などが昨年は活躍を見せています。レスリングは昨年のインターハイで花咲徳栄が男子団体と個人戦2階級で優勝、埼玉栄も男女で優秀な成績を残していま